

令和5年度

第1学年 評価規準

評価について

「あゆみ」に記載する、①観点別学習状況、②行動のようす、③特別活動のようすの評価は、学校で定める評価規準をもとに評価を行っています。

①観点別学習状況は、評価規準をもとに、3段階評価を行っています。

A、B、Cの3段階評価です。	
「目標に対して十分満足できる」	A
「目標に対しておおむね満足できる」	B
「目標に対して努力を要する」	C

1年生の前期の評価については、スタートカリキュラムで教科の枠を越えて、学校生活に慣れることや主体的に学ぶことを中心にカリキュラムを編成しているため、生活・音楽・図画工作・体育においては、国語・算数に比べて少ない単元での評価となり、前期のみ2段階評価（B・C）としています。

②行動のようすは、評価規準をもとに、項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

③特別活動のようすは、特別活動（1・2・3年生は学級活動、児童会活動、学校行事、4年生以上は学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）全体にわたって認められる、お子様の活動を評価します。内容ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

評価規準の内容について

評価規準に記載されている内容は、3段階評価の規準に対しておおむね満足できる場合は、3段階評価のBとなります。

※評価規準は、年度当初に計画したものを記載しているため、児童の実態や学習状況に応じて単元や内容を変更している場合もあります。

第1学年 国語科 後期 評価規準

単元一覧表

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おむすび ころりん	ク、コ	ノ	進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
としょかんと なかよし	ス		積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
こんな ことが あったよ	ア	テ、ヌ	積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。
こえに だして よもう	ク	ノ	これまでの学習をいかしながら、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。
たのしいな、ことばあそび	オ、サ		これまでの学習をいかし、積極的に言葉遊びをに組み、自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
やくそく	ク	ノ、ヒ	学習の見通しをもって、進んで登場人物の行動を確かめ、声に出してお話を楽しもうとしている。
かたかなを みつけよう	ウ	ナ	身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見付け、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
うみの かくれんぼ	カ、ケ	ネ、ハ	学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く取り組み、分かったことを伝えようとしている。
かずと かんじ	エ	ナ	これまでの学習や経験をいかし、積極的に数え方に興味をもち、漢字を使って数え歌を書こうとしている。
くじらぐも	ウ、ク	ノ、ヒ	これまでの学習をいかして、積極的に想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝えようとしている。
しらせたいな、見せたいな	ウ	テ、ナ、ニ	学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見付けたことを文章にして伝えようとしている。
まちがいを なおそう	ウ	ニ	これまでの学習をいかし、進んで文章の文字を見直し、適切な表記に正そうとしている。
ことばを たのしもう	サ		これまでの学習や経験をいかし、積極的に詩や早口言葉を楽しみ、発声や姿勢に気を付けながら声に出して読もうとしている。
かん字の はなし	エ	ナ	積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。

じどう車くらべ	ケ	ネ、ハ	進んで文章を読み、説明における順序の重要性を知ること、自分が説明するときにかきたいことを見付けようとしている。
じどう車ずかんをつくろう	ケ	ト	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気を付けながら自分でも自動車図鑑を作ろうとしている。
かたかなをかこう	ウ	ナ	これまでの学習をいかし、片仮名の表記の仕方に気を付けながら、文の中で使おうとしている。
ともだちのこと、しらせよう	オ	セ、チ、ナ、ヌ	紹介するという見通しをもち、進んで友達に質問し、友達について書こうとしている。
おかゆのおなべ	ス	ナ、ヘ	これまでの学習をいかし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようとしている。
ものの名まえ	ア、オ	ツ	学習の見通しをもって、積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、言葉を集めて「お店屋さんごっこ」をしようとしている。
わらしべちょうじゃ	コ	ヘ	今までの学習をいかし、積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、内容や感想を共有しようとしている。
日づけとよう日	オ	ナ	積極的に日付や曜日を表す言葉に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱歌を作ろうとしている。
てがみでしらせよう	キ	ナ、ニ	これまでの学習をいかし、書いた文章を積極的に見直しながら、身近な人に手紙を書こうとしている。
こえに出してよもう	ク	ノ	これまでの学習をいかし、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。
ききたいな、ともだちのはなし	ア	セ、チ	学習の見通しをもって、積極的に友達の話を聞き、質問や感想を述べようとしている。
たのしいな、ことばあそび	オ		これまでの学習をいかし、身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、言葉遊びを楽しもうとしている。
たぬきの糸車	ク	ノ、ヒ	これまでの学習をいかし、場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとしている。
かたかなのかたち	ウ	ナ	形の似ている字を進んで探し、片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
ことばを見つけよう	ア、オ	ナ	これまでの学習をいかし、積極的に身近なことを表す語句を使った文を書き、語彙を豊かにしようとしている。
どうぶつの赤ちゃん	ケ、ス	ネ、ハ、ヘ	学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。
これは、なんででしょう	ケ	セ、ツ	これまでの学習をいかし、粘り強く二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとしている。
ずうっと、ずっと、大すきだ	オ	ヒ、ヘ	学習の見通しをもち、友達の考えや感想を積極的

よ			に知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
にて いる かん字	エ	ナ	これまでの学習をいかし、進んで漢字の形に注意し、楽しみながら文を書こうとしている。
いい こと いっぱい、 一年生	ア	テ、ト	これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。

○知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方

記号	内容
ア	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
イ	音節と文字の関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。
ウ	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。
エ	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。
オ	身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。
カ	文の中における主語と述語の関係に気付くこと。
キ	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。
ク	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

○知識及び技能(2)情報の扱い方

記号	内容
ケ	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

○知識及び技能(3)我が国の言語文化

記号	内容
コ	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。
サ	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。
シ	書写に関する事項を理解し使うこと。
ス	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

○思考力、判断力、表現力等 【A話すこと・聞くこと】

記号	内容
セ	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
ソ	相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。
タ	伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。

チ	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。
ツ	互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

○思考力、判断力、表現力等 【B書くこと】

テ	経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
ト	自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
ナ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
ニ	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
ヌ	文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。

○思考力、判断力、表現力等 【C読むこと】

ネ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
ノ	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。
ハ	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
ヒ	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。
フ	文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。
ヘ	文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

第1学年 算数科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	わかりやすくせいりしよう
イ	10よりおおきいかず
ウ	なんじなんじはん
エ	3つのかずのけいさん
オ	どちらがおおい
カ	たしざん
キ	かたちあそび
ク	ひきざん
ケ	おおきいかず
コ	どちらがひろい
サ	なんじなんぶん
シ	たしざんとひきざん
ス	かたちづくり

○知識・技能

記号	内容
ア	ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。
イ	10までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
ウ	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。
エ	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。
オ	体積についての基礎的な感覚を身につける。直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。
カ	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。
キ	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。
ク	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。
ケ	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
コ	面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。
サ	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。

シ	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。
ス	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴をとらえ、直線で構成されたものも面で表されたものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴をとらえている。
イ	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。
ウ	短針と長針の関係をとりえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。
エ	2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。
オ	身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。
カ	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
キ	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能をとらえたり、構成や分解をしたりして、表現している。
ク	数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
ケ	既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現している。数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。
コ	身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。
サ	短針と長針の関係をとりえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。
シ	数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。
ス	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴をとらえたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
イ	10を超えるものの個数に関心を持ち、数を数えたり比べたり、数を用いて表そうとしている。

ウ	時刻に関心をもち、進んで何時、何時半の時刻をよんだり、時刻を日常生活に活用しようとしたりしている。
エ	3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、進んで加減を用いて式に表そうとしている。
オ	身近にあるものの長さ、かさ（体積）に関心をもち、進んで比較しようとしている。
カ	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えようとしている。
キ	身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能をとらえたりしようとしている。
ク	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えようとしている。
ケ	100までの数に興味・関心をもち、進んで数え方や表し方を調べようとしている。
コ	ものの広さに関心をもち、進んで広さ比べをしようとしている。
サ	日常生活の詳しい時刻に関心をもち、進んで何時何分かをよもうとしている。
シ	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決しようとしている。
ス	色板や棒を並べたり、点を線でつないだりして、進んでいろいろな形をつくろうとしている。

第1学年 生活科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	さかせたいな わたしのはな
イ	いきものとなかよし
ウ	あきと いっしょに
エ	みんなの にこにこ大きくせん
オ	ふゆと ともだち
カ	もうすぐみんな 2年生

○知識・技能

記号	内容
ア	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
イ	継続的に生き物を育てる活動を通して、生き物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
ウ	秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子や、自然を利用した遊びの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
エ	家の人「にこにこ」について考える活動を通して、家庭での生活はさまざまな人が支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
オ	冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子や四季の変化に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
カ	1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者と関わることのよさや、1年間でするようになったことに気付いている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子について考えている。
イ	継続的に生き物を育てる活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考えている。
ウ	秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の特徴について考えたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。
エ	家の人「にこにこ」について考える活動を通して、家庭生活を支えている人のことや、家庭内で自分ができることなどについて考えている。
オ	冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の特徴や四季の変化について考えている。
カ	1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者に伝えたいことを考えたり、自分のことについて考えたりしている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	継続的に植物を栽培する活動を通して、親しみをもち、大切にしようとしている。
イ	継続的に生き物を育てる活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。
ウ	秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然を取り入れて生活を楽しくしたり、遊びを創り出したりしようとしている。
エ	家の人の「にこにこ」について考える活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。
オ	冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然を取り入れて生活を楽しくしようとしている。
カ	1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者と進んで交流したり、これからの自分の成長への願いをもって生活したりしようとしている。

第 1 学年 音楽科 後期 評価規準

○後期 単元一覧表

記号	題材名
ア	どれみのキャンディー / どれみのうた / ひのまる / もりのくまさん
	おもちゃのチャチャチャ
イ	どこどこ / まほうのど / すずめがちゅん
	あのね / どんぐりぐりぐり / フルーツケーキ
	きらきらぼし
ウ	ことばのリズムであそぼう / いろいろなおとをみつけよう / おとのマーチ
エ	ほしのおんがくをつくろう
	こうしんきょく / おどるこねこ / おもちゃのへいたい

○知識及び技能

記号	内容
	曲想と音楽の構造との関わりに気づき、思いに合った表現をするために必要な歌声や演奏の仕方を身につけて表現する。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造と歌詞の内容との関わりに気づいている。 ・範唱や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、歌声及び発音に気を付けて歌ったりしている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気づいている。 ・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏している。 ・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・音やフレーズをつなげるために必要な音楽の仕組みについて、それらが生み出す良さや面白さなどと関わらせながら理解している。 ・思いに合った表現をするために、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身につけて表現している。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりや、曲や演奏の楽しさに気づいている。

○思考力、判断力、表現力等

記号	内容
	音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音や声を合わせて表現するかについて思いをもっている。
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取ったり互いの歌声や伴奏を聴いたりして、どのように歌うかについて思いをもっている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、どのように音を合わせて演奏すればいいかについて思いをもっている。 ・曲想にふさわしい表現方法を工夫するために、どのように演奏すればいいかについて思いをもっている。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムをつくったりつなげたりすることを繰り返し、その都度聞き取った音や感じ取ったよさや面白さなどの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。
エ	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、身体表現をするなどしながら曲全体を味わって聴いている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、学習活動に取り組もうとしている。
ア	・曲想を感じ取ろうとしたり、声を合わせて歌うためにどうすればいいか考えたりしながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
イ	・音を合わせて演奏するためにどうすればいいか考えたり、感じ取った曲想にふさわしい演奏方法を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
ウ	・旋律やリズムを組み合わせることを楽しみながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
エ	・曲や演奏の楽しさに気づいて聴く学習活動に進んで取り組もうとしている。

第1学年 図画工作科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	ひらひら ゆれて
イ	みてみて あのね
ウ	おはなしから うまれたよ
エ	によきによき とびだせ
オ	でこぼこ はっけん!
カ	はこで つくったよ
キ	のって みたい な いきたい な
ク	ならべて ならべて
ケ	かみざら コロコロ
コ	すきまちゃんの すきな すきま

○知識・技能

記号	内容
ア	<p>知識：試しながら風に揺れる飾りをつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付いている。</p> <p>技能：はさみ、のり、セロハンテープなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
イ	<p>知識：生活の中で感じたことを絵に表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：クレヨン・パスなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
ウ	<p>知識：物語を聞いたり読んだりして感じたことや想像したことを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：クレヨン・パス、共用の絵の具などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
エ	<p>知識：袋を膨らませる仕組みから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。</p> <p>技能：はさみ、のりなどの接着剤、袋などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。</p>
オ	<p>知識：紙粘土ででこぼこを写すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。</p>
カ	<p>知識：箱の形や色を生かしたり、積んだり並べたりして思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：はさみ、テープ、接着剤、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p>
キ	<p>知識：乗ってみたいものや行ってみたい場所から想像を広げて表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>技能：クレヨン・パス、共用の絵の具などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚など</p>

	を働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
ク	知識：身の回りにある材料を並べたり、つないだり、積んだりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付いている。 技能：身の回りにある材料に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。
ケ	知識：紙皿を使って転がるものをつくる時の感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 技能：はさみ、テープ、のりなどの接着剤、紙皿や箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
コ	知識：すきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな形などに気付いている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	表現：いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、材料が風に揺れる様子から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 鑑賞：いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、飾るなどして自分たちの作品や風に揺れる材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
イ	表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
ウ	表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、物語を聞いたり読んだりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
エ	表現：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、膨らむ袋の様子から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。 鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、膨らませるなどして、自分たちの作品や袋などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
オ	鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りにあるでこぼこの造形的な面白さや楽しさなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
カ	表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、箱の形や色や、積んだ

	<p>り並べたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や箱などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
キ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、乗ってみたいものや行ってみたい場所を想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
ク	<p>表現：いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りにある材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの材料やつくったものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げているエ</p>
ケ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを転がして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、転がすなどして、自分たちの作品や紙皿や箱などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
コ	<p>鑑賞：いろいろな形などを基に、自分のイメージをもちながら、身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	つくりだす喜びを味わい、楽しく風に揺れる飾りをつくる学習活動に取り組もうとしている。
イ	つくりだす喜びを味わい楽しく生活の中でしたことや感じたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
ウ	つくりだす喜びを味わい、楽しく物語を聞いたり読んだりして思い浮かべたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
エ	つくりだす喜びを味わい、楽しく袋を膨らませる仕組みから思い付いたものを表す活動に取り組もうとしている。
オ	つくりだす喜びを味わい、楽しく紙粘土ででこぼこを写し、形の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。
カ	つくりだす喜びを味わい、楽しく箱の形や色から思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
キ	つくりだす喜びを味わい、楽しく乗ってみたいものや、行ってみたい場所を思い浮かべながら表す学習活動に取り組もうとしている。
ク	つくりだす喜びを味わい、楽しく身の回りにある材料を並べながら、思い付いたことを試す

	学習活動に取り組もうとしている。
ケ	つくりだす喜びを味わい、楽しく紙皿を使って転がるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。
コ	つくりだす喜びを味わい、楽しくすきまちゃんと一緒にいろいろな隙間を見付ける学習活動に取り組もうとしている。

第1学年 体育科 後期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	表現リズム遊び（ダンス）
イ	ボールゲーム（ボール投げゲーム）
ウ	器械・器具を使った運動遊び（マット・跳び箱）
エ	跳の運動遊び
オ	ボールゲーム（ボール蹴りゲーム）

○知識・技能

記号	内容
ア	・表現リズム遊びの行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って踊ることができる。
イ	・ボール投げゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きを身に付けている。
ウ	・マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転といった動きを身に付けている。 ・跳び箱を使った運動遊びの行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りといった動きを身に付けている。
エ	・跳の運動遊びの行い方を知るとともに、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする動きを身に付けている。
オ	・ボール蹴りゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きを身に付けている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 ・よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。
イ	・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりしているとともに、考えたことを友達に伝えている。
ウ	・マットを使った運動遊び、跳び箱を使った運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。
エ	・跳の簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。
オ	・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりしているとともに、考えたことを友達に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	・リズム遊びに進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく踊ろうとしたり、場の安全に気を付けようとしていたりしている。
イ	・規則を守り誰とでも仲よく運動しようとしていたり、勝敗を受け入れようとしていたり、場や用具の安全に気を付けたりしながら、学習に進んで取り組んでいる。
ウ	・器械・器具を使っの運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしていたり、運動をする場の安全に気を付けようとしていたりしている。
エ	・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしていたり、勝敗を受け入れたりしようとしていたり、場の安全に気を付けたりしながら、学習に進んで取り組もうとしている。
オ	・規則を守り誰とでも仲よく運動しようとしていたり、勝敗を受け入れようとしていたり、場や用具の安全に気を付けたりしながら、学習に進んで取り組もうとしている。

第1・2学年 行動のようす

【基本的な生活習慣】

- ・丁寧な言葉づかいやきちんとした態度で返事やあいさつをしている。
- ・学級・学校のきまりや約束を守り、規則正しい生活をしている。
- ・校内の生活リズムに合わせた行動をとっている。
- ・好き嫌いなく食べている。
- ・交通ルールや学校のきまりがあることが分かり、安全に気を付けて生活している。
- ・机の中やロッカーの整頓など身の回りを整えている。
- ・危ない遊びや危険な場所での遊びをしないで、安全に遊んでいる。

【健康・体力の向上】

- ・ハンカチやちり紙などの用意や、手洗い・うがいなど清潔や衛生に気をつけて生活している。
- ・仲間と素直にのびのびと生活している。
- ・よい姿勢で学習している。
- ・自ら進んで運動遊びを楽しんでいる。

【自主・自律】

- ・自分の考えをみんなの前で発表しようとしている。
- ・よいと思うことをものおじせずに進んで行っている。
- ・学習や役割に最後まで粘り強く努力している。

【責任感】

- ・自分の使った道具や用具を、きちんと片付けている。
- ・学級の係や当番の仕事を最後まで行っている。

【創意工夫】

- ・生活の中で、よい方法を考えながら活動している。
- ・係や当番の仕事をしているとき、自分でよりよい方法を考えて上手に行っている。
- ・興味あることをまねたり、遊びを楽しんだりして工夫している。
- ・自分のしたいことやできることを素直に表現したり、行動に表したりしている。

【思いやり・協力】

- ・様々なやり取りを通じて、友達を大事にしている。
- ・困っている友達には、進んで手をかけている。

- ・身近にいる幼児や高齢者に対して、優しく接したり、助けたりしている。
- ・友達の役割が遅れたり、できないときは、待ってあげたり手伝ってあげたりしている。

【生命尊重・自然愛護】

- ・身近な自然の中で楽しく遊んでいる。
- ・草花や小動物にやさしい心で接している。
- ・草花や小動物などの世話を喜んでしている。
- ・自分の成長を喜び、自他の生命も同じように大切にしている。

【勤労・奉仕】

- ・頼まれたことや自分でできる手伝いや役割などを喜んでしている。
- ・友達や先生の手伝いを進んでしている。

【公正・公平】

- ・いろいろな友達と仲良くしている。
- ・まちがいや正しくないことをしているときは注意している。
- ・友だちから強く言われても、言いなりにならず自分の力で考えてから行動している。

【公共心・公德心】

- ・学校でみんなが使うものを大切にしている。
- ・みんなで使うものや場所を大切にしている。
- ・登下校では、交通ルールを守り、他の人に迷惑をかけずに行動している。

第1学年 特別活動 評価規準

○学級活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・みんなと楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動や実践の基本的な進め方や役割を理解し、技能を身に付けている。	・楽しい学級生活をつくるための課題を見だし、その解決のために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法について考え、合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	・みんなと楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、身に付けたことを生かし、自分の考えをもち、役割を意識しながら仲よく助け合って集団活動に取り組もうとしている。

○児童会活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・みんなと楽しい学校生活をつくることの楽しさやそのために高学年を中心に活動していること、そのための活動内容や参加の仕方を理解し、技能を身に付けている。	・楽しい学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や自分たちにできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	・みんなと楽しい学校生活をつくるための集団活動に興味・関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って学校をよりよくしようとしている。

○学校行事

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・学校行事の楽しさやそれぞれの行事の内容や参加の仕方を理解し、行事のねらいに合った参加の仕方を身に付けている。	・学校や学年の一員であることを意識しながら、学校行事での自分の役割や自分にできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりしながら実践している。	・学校行事に関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って取り組もうとしている。